

⑤ 社会

労働安全衛生

労働安全衛生方針

「無事故・無災害を最優先として、働く者と地域社会の安全を確保する」という安全方針に従い安全衛生活動に取り組んでいます。

労働安全衛生の推進項目および重点施策を、当社グループサステナビリティ推進会議で決定し、それに従って安全衛生活動を展開しています。

労働災害発生状況

2025年は当社グループ従業員と協力事業所の合計で、休業災害12件、不労災害8件で災害ゼロの目標は達成できませんでした。微傷災害も含めた災害発生状況の指標としてKPI

を定めた「災害発生率」は、目標の0.90以下に対して0.87で達成しています。前年と比較しても休業災害、不労災害は、特に協力事業所の方で増加しているため、安全に関する情報共有、教育などの体制を強化します。

当社は化学企業であることから、化学物質の被液、吸引などの災害も多いため、労働安全衛生法で強化された化学物質リスクアセスメントとその結果を作業員へ周知徹底するための活動に取り組んでいます。

また、熱中症対策についても早期発見し重症化させないための健康管理や声かけなどの教育、ウェアラブルデバイスなどの情報を共有し、職場の状況に合わせて導入しています。

労働災害発生状況(件)

年	東亜合成グループ			協力事業所・その他			合計			KPI : 0.90以下
	休業災害	不労災害	微傷災害	休業災害	不労災害	微傷災害	休業災害	不労災害	微傷災害	災害発生率
2023	1	6	10	5	4	6	6	10	16	0.46
2024	2	2	19	4	1	12	6	3	31	1.09
2025	3	3	6	9	5	6	12	8	12	0.87

※ 事業所のKPI = $\frac{\text{従業員の災害件数} + \text{協力事業所の災害件数}}{\text{①：従業員数} + \text{②：協力事業所の人数}} \times 100$

労働安全衛生管理体制

当社グループでは、労働安全衛生の推進項目および重点施策をサステナビリティ推進会議で決定し、それに従って安全衛生活動を展開しています。各事業所では、トップダウンとボトムアップを融合させて安全衛生のレベルを高めています。

各事業所で労働安全衛生法に基づく安全衛生委員会を毎月開催し、労使一体となり安全衛生活動を進めています。各職場では安全衛生会議を毎月開催し、労働安全衛生の維持・改善を進めています。

安全性向上の取組み

化学工場における工事作業の安全性向上を目的として、オリジナルの「安全ルールブック」を作成し、現場での活用を

推進しています。本冊子は、工場内で工事を行うすべての方々に向けて、化学工場特有のリスクや注意点を踏まえた基本的なルールを分かりやすくまとめたものです。

作業前の打合せやKY（危険予知）活動の場で「安全の手引き」として活用することで、「安全はすべてに優先する」という意識の共有と、災害ゼロの実現を目指しています。今後も、協力会社の皆さまとともに安全文化の定着に取り組んでまいります。



TOPICS

横浜工場の熱中症対策:かき氷イベント

7月から9月まで週に1度程度かき氷の提供をし、社員、協力事業所員とともにコミュニケーションの場にもなっています。

